

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	須木小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	12人（男性9人 女性3人）		海老原 幹朗	司会進行
開催日	平成29年7月11日（火）		福本 誠作	活動報告
開催時間	午後7時～午後8時10分		窪菌 辰也	記録・報告書作成
会場	ふるさとセンター		大迫 みどり	
その他				
		1班		

◎班代表者 大浦 竹光

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	「地域交通について」・「空き家活用について」		
【意見交換の概要】 「地域交通について」 □コミュニティバスが上九瀬から小林まで国道を走っているが、奈佐木地区の一部は国道まで2キロあり、そこまでの交通手段がない。議会としてはどう考えているのか。 ■各地区に合う交通手段について議会でも議論を深めたい。 □質問した人に「いまどうなっている。もう少し待ってほしい。」など連絡してほしい。それでなければ「去年も言ったけど何もなかった。言っても同じこと。」となり、来なくなる。 ■全体会議で出し合い、結果については議会だよりで報告させていただく。去年も、はなみずき臨時号を発行し報告している。 □スクールバス、コミュニティバスなど市からの補助金が出ていることは知っているが、赤字路線でも走らせてほしい。今年から200円になり喜ばれている。高校生が乗車しているが、みなさんが月1回でも乗車するようにしたらいいと思う。 ■路線バスに1,000万円、コミュニティバスなど合わせて5,000万円補助している。みなさんが利用していただければ補助額も減るが、利用しやすくすることも大切と考え、今回意見をお聞きしている。 □病院が終わった時、帰りの便がなく、3時間待たなければならない。時間帯が合い、接続が可能であれば利用できる。 ■議会全体で議論を深めていきたい。			

「空き家活用について」

□平成２７年から空き家調査をした。取り壊すしかない（２４軒）、リフォーム（１４件）、家財道具がある（２０軒）、リフォームと家財道具（３７軒）、すぐに住める（１２軒）、その他（４０軒）であったが、空き家バンクに登録できたのは２軒だけであった。個人情報などあり、職員に動いてもらわなければ、区長では答えてもらえず限界である。

■空き家バンクだけでなく、様々な活用方法を考えていけば、持ち主にお金も入り、貸しやすくなると思う。議会全体で議論していく。

□須木に住みたい人は多い。空き家の家具の片付けなど進まない。処分するにもお金がかかる。何とかならないか。

■一般質問や委員会審査を通して伝えている。議会でも議論を深め、地域の意見を伝えていく。

□持ち主は、都会にいて帰るつもりはないので好きなようにしていい、と言われる。農機具もそのままになっている。若い人は農業に魅力を感じているらしい。うまくやれば住みやすいまちになると思う。

■行政も移住定住を目指している。様々な意見を聴取しながら活用できる形を議会でも議論していきたい。

□市営住宅・教員住宅の利用も考えたらどうか。

■有るものを十分活用することは大事。議会全体で議論していく。

自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□消防訓練広場のトイレが汚い。

■現地を確認し、写真とともに担当課へ伝えた。

□意見交換会で出た意見の回答はどうなるのか。

■全校区の報告書はホームページで見ることができる。

議会活動報告への意見

※□市民の意見 ■議員の意見

特になし